



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

これぞ！ “ザ、学校生活” ～日頃の授業に、おじゃまします。～

学級担任が、出張等で留守の時です。我々級外の職員が、担任に代わって、学習活動を進めます。生き生きとした(生の)、学級の様子を体感する、貴重な時間になります。

中学年の、書写(毛筆)の授業に出ました。指導者として、神経を使う授業です。油断をすると、墨汁で、様々なトラブルが発生します。もちろん、予想される“危険ポイント”は、事前に、念入りに指導します。

例えば、墨汁出し過ぎで、硯(すずり)から、墨汁ボトルに戻す時。「残らないように、出し過ぎんごとね。」と言ったにも関わらず、惜しげもなく、たっぷりと出している人がいます。案の定、硯から直接ボトルに墨汁を戻していて、たいそうこぼれます。そして、手が真っ黒になり、その手が、シャツに…。「そんな時に、(習字セットに入っている)スポイトを使うとよ。」

筆を片付ける時、とばしゆる(しぶき)が飛んで、シャツや友達に…。

穂先にたっぷり過ぎるほどの墨汁を付けた作品は、力強く、半紙を突き破るほどです。まだ乾いていない作品を、片手で運んでいると、なびいた作品が、シャツや友達に…。

最近では、節水の意識を高めることもあり、ペットボトルに水を入れて、片付ける時に使います。キャップをすることを確認していても、倒した時に、水浸し。「なんで、キャップば、しとらんやったと!?!」

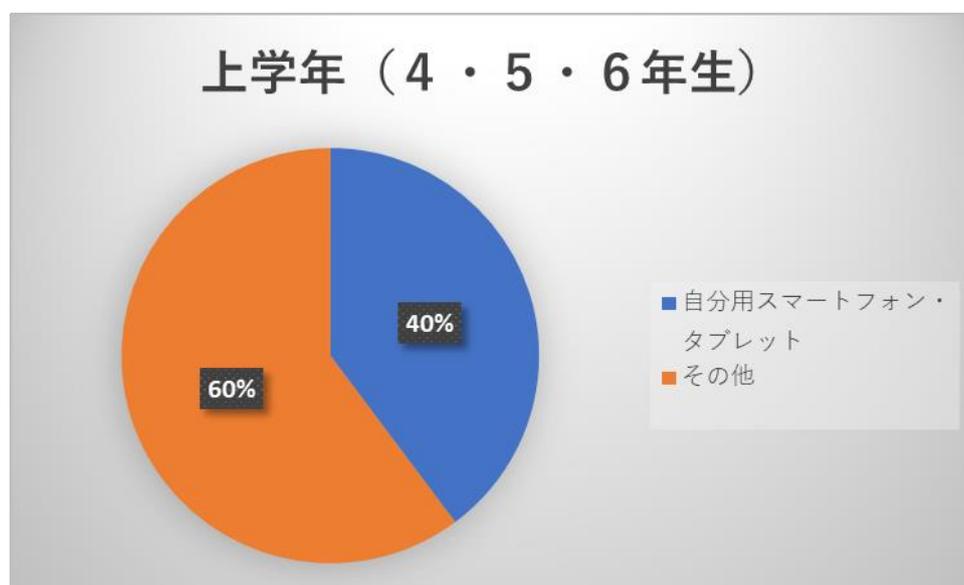
失敗も含め、すべてが、“学び”なんですよ。とは言え、学級担任としての苦労も、しっかりと共有していかなければと、改めて、強く思ったところです。

学級担任をしていると、すべてを自分で抱えてしまいがちです。しかし、学校全体、保護者の皆様、地域の皆様といっしょに、大事な子育てをやっていることを実感すると見方も変わってきますし、心に余裕が出てくることも、多々あります。多良小学校のチーム力を、さらに高めていきたいと思えます。



子ども達のスマートフォン、タブレット所有の現状

～保護者の皆様方と連携しなければ、やれないこと～



子ども達の現状を知るために、アンケートをとりました。その結果の一部が、上記の通りです。かなりの割合で、自分用のスマートフォン・タブレットの所有をしていることが分かります。通信機器の使用について、現状を踏まえ、学校と保護者の皆様方、しっかりと共通理解して取り組む必要があります。特に、保護者の皆様の目が届かないところで、外部とつながってしまっているとすれば、たいへん危険です。保護者の皆様との、相互の情報共有は、不可欠です。

気になる状況等あれば、ぜひ、学校にもお知らせ下さい。